

第1回審議会での意見(項目)について

1 10年先さらにその先を見据え、考え、整理しておくべきこと (過去の延長線上ではない環境変化への対応)

(1) 想像される変化

- ① 政治、経済、社会の不安定な状況の継続、産業構造の転換
- ② アジア諸国における日本の地位低下
- ③ 温暖化被害の顕在化
- ④ 少子高齢化や人口減少など
- ⑤ まちづくりの理念の変化

(2) 変化を踏まえた主体的なビジョンの必要性

- ① 鹿児島市民として主体的な努力をしていく方向性(ビジョン)を考える
- ② これからは「選択」が重要

2 多くの市民の理解、参画、協働につながる市民レベルでの分かりやすさ

(1) 市民レベルでの分かりやすさ

- ① 「詳しく」ではなく「分かりやすく」
- ② 自分たちの生活や職場、地域との関わりを感じさせるものに

(2) 市民の参画・連携につながる仕組み

- ① 市役所の対応セクションが分かるように
- ② 総合計画の推進体制の明示

3 アジアや日本の中の鹿児島市という視点

(1) 対外的に発信する方向性

- ① 国内外の都市間競争を見据えた、対外的に発信する都市

4 第四次総合計画の検証

(1) 現計画の検証

- ① 現計画の検証を踏まえた、新たな計画の策定